

## 第3回浜田市立学校統合計画審議会議事録

日 時：平成30年8月9日（木） 15：03～16：50

場 所：浜田市役所北分庁舎2階会議室1

### 議事

- 1 会長あいさつ
- 2 資料説明（資料1、資料2-3）
- 3 協議事項
- 4 その他

#### 1 会長あいさつ

事務局

ただいまより、本年度第3回目となる浜田市立学校統合計画審議会を開催させていただきます。

今の時点で8人出席であり、半数の7人以上であるため、会は成立するということを報告させていただきます。

それでは会長にごあいさついただき、引き続いて、議事進行をお願いします。

会 長

大変暑い中お出掛けいただき、ありがとうございます。7月12日の台風以来、10時くらいまで小雨が降ったが、小雨であったので湿度が高くて、かえってまた暑くなった気がする。連日の暑さの中で、今日は15時からの開会ということでおいでいただき、ありがとうございます。

先ほど、事務局のあいさつでもあったが本日が第3回ということでご案内しているところであるが、前回、第2回を7月5日に開催し、色々と協議いただき、議論していただいた。第2回の審議会では2人の委員が欠席であったが、第2回の経緯や協議の内容については、議事録が配付されているので概ねご理解いただいているのではと思う。非常に難しい問題であり、前回も2校については一応まとめをしたという段階である。今日も引き続き、石見小学校から中学校等々ご協議いただく。難しい問題であるが、委員方一人ひとりから十分ご意見をいただきたいと考えているところである。

今日の第3回の協議対象校は、雲雀丘小学校、美川小学校については終わっているので、石見小学校、松原小学校ということになるが、できるところまで焦らずにしっかりとご意見をいただい

て進めていきたいと思っている。この会がスムーズに進行することを願って、開会のあいさつとする。よろしくお願いします。

## 2 資料説明（資料 1、資料 2-3）

会 長  
事務局

事務局から資料の説明をお願いします。

お手元にお配りしている資料について、資料 1 とその次の赤字が入ったものがある。まず、資料 1 については、前回の審議会の時に配付した資料であるが、数値に間違いがあるため前回のものと差し替えていただければと思う。赤字の表で訂正部分の説明をさせていただきます。

まず、赤字の入った表であるが、1 歳の子どものところで石見小学校と三階小学校の数字に間違いがあり、前回、石見小学校が 39 人と示したが 40 人が正しかった。三階小学校については、44 人と示していたが 43 人が正しかったということで、総数は変わらないが、1 人入れ違いがあったということで訂正している。

それから 5 歳児のところについては、全部数字が誤っていた。原井小学校については 32 人としていたところが正しくは 21 人と、11 人も違ったところがあった。その総数は 321 人で変わらないが、赤字で訂正した表の 3 段目のものについて、5 歳児が変わったことで、学校別の平成 31 年度からの学校別の児童総数の、全部の数字が変わっていく。原井小学校で言えば、11 人分が毎年違っているということになる。

このことについて訂正させていただいて、本日配付した資料 1 が最終のものであるので、前回分は破棄してこれと差し替えをしていただきたいと思います。大変申し訳ない。

それから、資料 2-3 についてである。今日、石見小学校と松原小学校の審議をしていただくわけであるが、校区が複雑にからんでいるところであるため、資料 1 では学校別の年齢別しか示していなかったが、ここでは学校別の町別の人数を示させてもらった。6 歳以降のところについては、現在その学校に通っている子どもたちの数で、校区外の数字も 1 番下に示している。この資料の内容については、松原小学校と石見小学校の審議の中で関連してくると思うので、最後のところで、校区をどうするかということも含めての資料として見ていただければと思うのでよろしくお願いします。

1 つずつ数字の説明はしないが、参考にしていただければと思う。説明は以上である。

会 長 今、事務局から資料1の訂正について、そして資料2-3について学校区の見直しの参考資料ということで説明があった。特に、校区の見直しについては、これから協議する事項に非常に関係のある部分ではないかと思う。これらの点についてご質問、ご意見があればお願いします。

各委員 特になし。

会 長 質疑等ない様であるので、これで終わらせていただき、協議に入る。

### 3 協議事項

会 長 前回に続いて、今回も委員の一人ひとりに意見を伺い、それを受けて全体の協議に入りたいと思う。特に、石見小学校について事務局から説明することがあればお願いします。

事務局 前回配付した資料5についてである。学校統合計画に関する協議の参考資料ということで、同一小学校の児童は同一中学校への進学とする、それから老朽化の学校については、単独の建て替えか学校統合するということが上の部分に書いてある。今日ご審議いただく石見小学校については、378人児童がいて、老朽化の施設であるというところ。事務局の参考資料として、ここに挙げさせてもらっているが、まず、松原小学校の一部を編入して石見小学校の建て替えをする場合、それから、石見小学校単独の建て替えの場合、それから、極端な例になるかもしれないが、石見小学校を廃校にして、松原小学校や三階小学校に編入する場合と、可能性としてはこの3つがあるかなということで書かせていただいている。これ以外の考え方ももちろんあると思うが、これらを踏まえた上での協議となると思うのでよろしくお願いします。

会 長 前回の資料に基づいて、石見小学校の関係や松原小学校の関係について説明されたが、皆様方も内容の部分は資料等をご覧いただき、補足説明等も併せて参考にしながら、今回も順番に委員の意見をお願いします。

委 員 前回の参考資料があるが、松原小学校から石見小学校へとか、あるいは、松原小学校の一部を原井小学校にとか、松原小学校をなくすという考えでなく、距離が遠くなるということもあるので、やはり建て替えがベストであると思う。

ただし、現地の場所は不適格と思う。何故かという、1つは、地盤沈下する土地であるということ。それから、現在、一部4階建

て、一部1階建てという変則構成になっている。職員室は3階にあり、児童の状況把握が全くできないという状況である。従って、その場所に新しく建築するとなると、場所が非常に狭くなるということもあるので、新しく、下の方へ土地をどうにかしないと、やはり問題が残るだろうと思う。

場所がないので困るが、児童数が多いということ、それから、校区の中で一番、中央の辺りに位置しているということで、遠いところもあるが、児童の通学距離も同じ様な距離で通学できるということもあり、その方が良いのではと私は思う。

事務局

場所の関係の話が出たので少し補足する。今の石見小学校は昭和40年頃に建てられた。その前は、県立体育館の横にある中国電力の場所にあった。当時は県立体育館のところグラウンドで、今の石見小学校の場所に、昭和40年頃に建設されたということであったと思う。

何故あの場所になったのかということは厳密に把握していないが、現状としては、浜田市陸上競技場の上の断崖山という岩山を削るのは難しいという状況、それから先ほど言われた浜田市陸上競技場や浜田市野球場は地盤沈下が少しあり、中々落ち着かない状況であるということ、それから石見小学校の校庭に石垣があるが、桜の木の根で不安定な状態になっているという状況である。

今言われる様に、どこに建てるかという問題があるが、施設が古いことは間違いないので、現状ということで説明させていただいた。

委員

現状をもう少しお話すると、石見小学校は学校を機能的に使う様にできていない。例えば、正面玄関を通過して入ってくるお客さんはほとんどいない。皆、裏から入ってくる。それから、建てられたのが昔であるため、教員が自家用車で通勤するということは考えられていないということで、駐車場がほとんどない。職員が30数人いるが、駐車スペースがない。校舎の周りがとても狭く、非常に使い勝手の悪い校舎である。どこか広いところがあれば良いが。

事務局

別の場所ということであれば、場所をどこにするのか検討しなければならないのは確かである。

会長

ありがとうございました。今、委員からご意見をいただいた。石見小学校については使い勝手が悪く、駐車場がないということで、委員方に現地を確認していただいている。また全体の中で検討していきたいと思う。

委員

前回は欠席し、大変失礼した。

前回を含め、ずいぶん協議をされたと思う。私は金城町波佐の奥の方に住んでおり、生湯町から桜ヶ丘までの範囲がどこなのか、境目がはっきり分からないのが現状である。しかしながら資料を見させてもらおうと、小学校の中でも児童数が一番多い学校である。それを老朽化とかその他の条件で廃校にするということは、保護者の方からも反対があると思うし、少し乱暴ではないかという気がする。

資料1のシミュレーションの中でも、6歳から11歳までのところの数字が多い。先般、現地の視察をさせていただき、ど真ん中の方で、交通の不便なところであると感じたのは確かである。先ほど他の委員が言われたとおりである。

例えば、校区のエリアがどこかはよく分からないが、長期的に考えなければならないのなら、日本専売公社の用地の様に広い用地を一般の方々に転売してしまうという様なことを考えると、あそこは長細い土地ではあるが、上手に設計、レイアウトすれば、結構良い土地であったのではないかと思う。あそこも同じ様なエリアであるので、地盤沈下があるのか。

委員

あそこは松原小学校の校区である。

委員

少し寄りすぎているかとは思ったが、そうであるならどうしようもない。

場所は分からないが、老朽化の問題で検討するというのであれば、私は建て替えをしていただいた方が良いと思う。

会長

ありがとうございます。確かに児童数が最も多い学校であり、色々難しいところがある。

委員

私も先に発言されたお二人の委員と同じ意見である。私も認識不足だったが、今の地盤沈下といった話も出てきて、グラウンドなどにもそういったことがあるという話は聞いていたが、石見小学校の建物そのものに地盤沈下の影響はあるのか。

事務局

地盤沈下による建物への影響は聞いていない。グラウンドは沈下している。建物が浜田市内で1番か2番目に古いというのは確かである。

委員

建物は山側に建っているのでそれは関係ないが、校庭の端の、浜田市野球場に近いところがずいぶんと下がっている。1度直した様な跡があるが、また下がっている。

事務局

石垣の部分である。何十年か前に、石垣が崩れたりしてコンクリートをしたというのは覚えがある。

委員  
事務局

浜田市野球場も地盤沈下が起きている。

浜田市野球場と国道9号線の間には浅井川があり、それが浜田川に合流している。その関係でどうしても地盤沈下が起きる。昔は、川がきれいに整備されていなかったのも、土が流れたりしていた。戦前、あの辺りは全部沼地であったと聞いている。そのため、地盤が緩いのかと思う。浅井川の河川改修によって少しは良くなった。

委員

先ほども言われた様に大きな学校であるし、距離的なところを資料で示していただいたが、その様なところを見ても、やはり、他のところに分散するのではなく、建て替えをとということが望ましいかと思う。

他の場所ということについては、私も三隅町出身で浜田自治区の地理にあまり詳しくないが、次のところにも関連してくるが、資料5に示してある(1)のところを話を進めていくのが良いのではと思う。ただ、先ほども言われた地盤沈下の問題、それから、交通の便の問題をクリアした上でできるのであれば、今の場所で建て替えをするのが良いのではと思う。

会長

ありがとうございます。今、ご意見をいただいた委員は、分散するのではなく、やはり建て替えが良いと言われたわけであるが、また全体の協議の中で審議していく。

事務局

去年の2回目の審議会でも配付した資料で、大体の位置関係を示している。右側が後野町や佐野町辺りで、上側が生湯町である。

委員

私の子どもが今年の3月まで石見小学校に在籍していた。保護者として、グラウンドで地盤沈下が起きていることを全く知らなかった。学校も色々なところで補修されつつ、でも耐用年数経過ということで、やはり建て替えが必要かと思う。去年の資料の図を見ても、石見小学校区がとても広範囲であるのが分かる。

不思議に思うところがある。浅井4-1町内と浅井4-2町内で、松原小学校と石見小学校に分かれているところがあるが、おそらく、県営住宅と市営住宅で分かれているのかと思うが、どうか。

事務局

浅井4-1町内と浅井4-2町内で、分かりやすく分けただけである。浅井町は元々、石見小学校区であったが、松原小学校が松原町から今の浅井町の場所に建て替わった時に、石見小学校区の中に松原小学校ができたということである。その時に校区を変えなければ、松原小学校の近くに住んでいる児童が石見小学校に通わなければいけなくなってしまうということで、校区の見直しがされて、浅井町の線路より北側の、浅井4-1と4-2、5-1から5-5町内と6町

内が松原小学校、駅前の浅井 1 町内、2 町内、3 町内と銀天街が石見小学校にそのまま残ったということである。

ただ、浅井 4-2 町内は緑ヶ丘団地であるが、校区外で石見小学校に通っている児童が何名かいる。校区としては、松原小学校区である。

委員 もし学校を新しく建て替えるのであれば、校区の見直しが必要と思った。

会長 ありがとうございます。次の協議校である松原小学校のところにも書いてあるが、確かに校区の見直しも必要である。

委員 石見小学校は大規模校であるので色々難しく、すぐにという話にはならないと思うが、建物自体が古く、劣化も激しい。先ほどの話でもあったが、職員室も 3 階にあるということで、旧型のタイプの校舎であるため建て替えが一番望ましいと思うが、現状の場所では厳しいということもある。統合などの問題でなく、場所がないし、浜田市野球場をなくして、そこに石見小学校を建てるという案も良いのではと思う。浜田市野球場も一部修繕される、移動しなければならないという話も聞いたが、石見小学校も移動する場所がなければ編入するしかないと思う。その場合が松原小学校と三階小学校であるが、松原小学校も次の案件で出てくる。こちらも移動する場合にはかなりの児童数になるので、それを受け入れるだけのクラスがあれば良いが、中々それも難しいと思う。

個人的には建て替えが無理なら編入という形で、三階小学校と松原小学校に転入するという案が良いと思う。距離数を見ても、三階小学校までが 1.7 キロメートルと、松原小学校までが 2.6 キロメートルであるため、石見小学校に通っている児童でも、三階小学校が近いという児童もいるかも知れない。割り当てを見ても、石見小学校から松原小学校に来る児童も、松原小学校から原井小学校に編入という、校区の見直しでバランスも考えることができるかと思う。気軽に建て替えや編入はできないが、色々なパターンを考えながらやっていかないと難しいと思う。

答えは中々出ないが、基本的には予算のことも考えると建て替えられないのではないかと。個人的には、松原小学校と三階小学校に編入が良いと思う。その先に、雲雀丘小学校と美川小学校の関係の建て替えをするのであれば、続けてすぐにはできないと思うが、石見小学校が 10 年くらい後に建て替えになった場合のことを考えなければならない。このままの推移であれば、おそらく 10 年後の人数

も極端には変わらない。400人を超えることはないと思う。現状の数が少し減るくらいである。そうした場合、危ないなと思った時にはやはり、新しい校舎であるので幾分か三階小学校に重きを置いて編入してもらい、松原小学校に一部編入し、松原小学校に校区の見直しをしてもらい、松原小学校から原井小学校に編入していただく。できるだけコストをかけないというのであれば、そういう案が良いのかと思う。

第一中学校や第二中学校に関しても、第二中学校区については松原町から第二中学校に行く距離と、第一中学校に通う距離というのは、第一中学校に通う距離の方が近くなるので、今の段階では廃校として、編入するという方が現実的には良いのではと思う。

会 長  
委 員

ありがとうございました。

石見小学校の中に入ったことがないので、外観しか見たことがない。もちろん地盤沈下についても全く知らなかった。ただ、やはり児童数が多いことと、浜田市の中心の小学校であると思っているので、老朽化として、建て替えた方が良いのではないか。廃校というのは難しいと思う。

会 長  
委 員

ありがとうございました。

私も、委員方から意見があった様に、大規模校を廃校にするといった時に、地元の方の賛同を得られるかどうかということが1つあり、大きな学校であるのに、古いからといって廃校にするのかという意見が出るのではと思う。

松原小学校に分かれたとしても、松原小学校も古いから、原井小学校に編入するということになるのと、旭小学校もそうであったが、1回統合してもう1回引っ越しということをする、自分がどこの学校を卒業したか分からないという意見を聞いたことがある。度々学校の移動についていくことになるのはどうかと思う。

三階小学校も新しいとは言え、年数が経っているので、結局、松原小学校と三階小学校に編入になって、三階小学校が老朽化した時に、また学校を建てなければならないことになりかねない。私の気持ちとしては、松原小学校に一部を編入して建て替えという形を考えるのが良いのではと思う。

今、第一中学校区、第二中学校区は松原町の中で複雑に分かれているのか。

事務局

資料2-3の松原小学校の欄を見ていただくと、上から外ノ浦町、松原町、殿町の3つが第二中学校に行く校区になる。田町から下に



委員

については、第一中学校へ行く校区である。

第二中学校をどうするかということもあるので、どうしても単独の学校に目がいってしまうが、総合的に見た時に、このエリアで中学校区としてまとまりのある教育をしていくという様な事にしていかないと将来的に良くないのかなと思う。

小学校だけを見るのではなく、中学校も統合や建て替えがあるということも頭に入れながら考えなければならないので非常に難しいと思う。

予算がないというのもよく分かるが、浜田市としてどの様な子どもたちを育てるのか、どの様な教育をしていくのかという視点を忘れてしまっただけとはいえないとも思う。今、石見小学校をどうするかと考えた時に、石見小学校だけで語れないということが大きいですが、廃校は難しいと思う。

会長  
委員

ありがとうございました。

私は、廃校は無理であると思う。それから、(1)松原小学校の一部編入をして統合建て替えの場合という案も、学校が大きくなりすぎて、児童数も増えすぎると、今度は教育の面でどうなのかと危惧する。

グラウンドと浜田市野球場は地盤沈下しているが、学校はしっかりしているのではないか。あそこは単独で、石見小学校として建て替えた方が、私は良いと思う。

それから、石見小学校は危ない。先ほど他の委員が言われた様に、使い勝手が悪く、視察に行った時には驚いた。雲雀丘小学校も古かったが、まだ少人数である。石見小学校の様なマンモス校があんな様な状態であるとは驚いた。学校の中を回り、体育館に行き、帰ってくる通路を通っただけでも本当に驚いた。あれは早急になんとか手を打ってやらないと、児童のためにも良くないと私は思う。是非、単独で建て替えを考えるべきであると思う。

会長  
委員

ありがとうございました。

皆様の意見を聞かせていただいて、前回と一緒にあるが、実情が分からないので、一概にこれが良いということが言えないということがあるが、施設を見させていただいたことから言えば、当然建て替えが必要であると思う。ただ、今の地盤沈下の話を聞くと、学校の場合休むというわけにはいかないので、工事中も必ず授業をしなければならない。現地に建て替えということになれば、当然仮校舎を建てることになる。地盤が安定している今の校舎のある現地に建

てるというのが安全上はよいのであろうが、果たしてその様なことができるのかどうかということ、それから、皆様から出ていた代替地というものを確保できるのかということについては、私には全く分からないので、意見を言いにくいところがあるが、施設としての建て替えは必要であると思う。

委員

私も個人的には、地域の実態や、周囲の状況が分からないが、皆様と同じ様に建て替えが必要であると感じる。建て替えをするとなれば、現状の校舎の跡へ建て替えをするのか、あるいは、場所を変えるのかという検討が必要であると思うが、私個人的には建て替えが必要であると思う。特に大きな学校であるので、皆様からも話があった様に、地元がどう受け止めるかということも大きな課題であるが、その辺りの理解をしっかりと得ながら、進めていくべきではと思っている。

会長

ありがとうございます。委員方から、それぞれの思いや感じになった点についてお話いただいた。色々な学校を見させていただいて比較検討したり、児童数の関係等を見ていく中で、この石見小学校というのは大規模校ということがある。委員方からそういった意見があった様に、やはり廃校ということは難しい。また、そういった点を踏まえて地盤関係等も考慮、検討しながら建て替えの意見が多かった。委員方からお話いただいたが、事務局から浜田市として考えがあればお話しいただき、全体協議に入りたいと思う。

委員

少しお聞きしたいことがある。原井小学校を作るときに、ひと山削って敷地にした。資料に 25 億円くらいの建設費用というシミュレーションがあるが、あの様な工法で、山を半分削って用地を作るということには、莫大な費用がかかっているのか。

事務局

確かに、造成費がかなりかかっていると想像するが、具体的な数字は私も分からない。

委員

あの様なことは 2 度とできないという範疇であるのか、周りに広いところはなくても、山を削ってでも用地を確保するという覚悟があるのかどうか。ただ、広いところを探して歩いても、もうほとんどないはずである。

事務局

現実、松原小学校にしても、原井小学校にしても三階小学校にしても、全部山を削って学校を建てている。土地がないというのが事実である。

委員

どちらにしても、造成しなければ土地がないわけである。

事務局

別の場所にということであればそうである。

委員

今の場所が、岩盤を掘削できるようなところであるのか、それとも硬い岩盤で、敷地を広げることができないところであるのか。

例えば、新しいところを削って、今の校舎を少し移動させて、グラウンドの沈下するところを避けてグラウンドを作るということが、あの場所でできるのか。

事務局

松原小学校や原井小学校は、当時、山というか丘を削って造っているが、そういった時には、残土の処理をどうするかということがつきものである。おそらく、当時は残土を処理するところがあった。

今、石見小学校の裏の断崖山は、地質的には当然硬いということ、それから、進入路を確保するのが難しいということもあり、あそこを造成するとなると、かなりの経費がかかるであろうと想定されると聞いているので、中々造成は難しいと考えられる。

先ほど出たが、石見小学校の周辺は地盤沈下があるということで、皆様ご存知であると思うが、浜田市陸上競技場も浜田市野球場も、おそらく県立体育館のところも、地下の駐車場のところがボコボコしているので、地盤沈下の影響があると考えられる。あの辺一帯は地質的に良くない。

委員

駐車場にされるのであれば、多少地盤沈下の影響があっても問題ないのでは。

事務局

浜田市野球場も、将来的にはどこかに移設をという構想をもっているが、それはまだ何十年先になるかわからない話である。

委員

浜田市野球場が地盤沈下するから移動するのに、わざわざ地盤沈下するところに新しく建てるわけにはいかない。

委員

学校は災害の時避難場所になる。おそらく、今のグラウンドとか県立体育館は昭和 63 年の災害で浸かっている。あまり土地を下げるのはどうかと思う。

事務局

そう考えると、適地がないというのが現状である。

事務局

断崖山を削ることはできないことはないと思う。しかし、視察の時には第一中学校や石見幼稚園側から上がられたと思うが、あそこには川や一般住宅があり、工事用車両が通るのは間違いなく難しいと思う。国道 9 号線から浜田市陸上競技場側に入って、山を削って道をジグザグに作ってという形でないと入れないかと思う。そうするとコストは相当なものになると思う。25 億円は建設費だけで、造成費は入っていない。

委員

視察に行かせてもらったところがメインコースの入り口であるか。マイクロバスがぎりぎりに入ったが。他にも大型バスが入れる

事務局

ような広い通路があるのか。

ぎりぎりだが、給食車両が入れるくらいの通路がある。ダンプや大型バスは無理である。遠足などで子どもたちが出掛ける時には、下のふれあい広場からバスに乗って出るという形である。

委員

それでは避難場所にもならないということである。

委員

今の建物を建てられる時に、大型車両はどうやって入られたのか。家が建っていなかったのか。

委員

昔は住宅がなかったと考えられる。昔の航空写真が石見小学校に飾ってあるが、周辺に宅地がなかった様に思う。

委員

道路が段々狭くなる様なことはあまりない気がする。

委員

先ほど私も廃校ありきで話したが、今までの話の流れの経緯が、雲雀丘小学校から始まって、これも学校統合は地域住民を交えての話になるが、順番的に考えて、最終的に美川小学校をやめて石見小学校を先にしましょうと、雲雀丘小学校や美川小学校より先に石見小学校を先に考えてあげなければいけないのではという意見もあるし、先ほどの校区の話もある。どれも最優先であると思うが、順序を決めてしまうとどこかで必ず引っかかってくる。そうした場合にどうするかということであるが、前回の話からすると、会長が言われた様に、元の形に戻ってしまうので、あくまで統合した時に、この様な形であったら統合しても良いのではないか、この様な形なら増設しても良いのではないかというあくまで案を出すということである。これが決定というわけではない。

であるなら、今の予算や地域の現状で何を最優先して考えられるということを出していかないと、逆に古いから廃校になればいいとは思っていないが、基本的に今の流れで行くのであればどこを統合して増設しなければいけないのかという短絡的なことを言えば、我々はそこを決めないといけない。もう一度確認が取れたら良いが、浜田市の予算や立地のことと言えば、場所がないのにこちらで決めるわけにもいかないので、浜田市がこの場所が良いと提供する場所があるのであれば、その中に沿っていった方が良いのか、悪いのかということも考えなくてはならない。石見小学校に関しては、今のところ答えは難しいと思う。雲雀丘小学校よりは新しいが、今、現状で市内の中心部のところを見直そうと思ってもなかなかできない。

一番分かりやすいのが、雲雀丘小学校や美川小学校や松原小学校である。松原小学校と考えると、松原小学校を廃校にしなけ

ればならなくなった時に、石見小学校か原井小学校にしか行く方法がない。さすがに、今、石見小学校の建物が劣化して危ない、人数の受け入れのこともある、地盤沈下も進むのではということを考えて、松原小学校の児童は原井小学校へ行かせた方が良いということにもなる。中々つながっていかず、話が進めていけない。

基本的には、児童たちや地域のことが1番大事である。石見小学校については今言ったところで考えなければならないと思う。先ほど言われたことも確かにもっともであると思うが、あくまでもクールに考えていくべきところである。予算のことを考えて、最終的に地域のことを考えるのか、それとも、地域のことを考えながら統合ありきで進めるのか、廃校にするのかということを決めていかないと、ここから先の問題は難しい。人も絡むことであるため答えが難しいと思う。

一番分かりやすいのは、松原小学校のところを分けてしまえば簡単な話である。石見小学校は、最後になるのではと思う。一番大きな小学校であるので、その次に第二中学校や第四中学校になると、最終的に絡む石見小学校がどうなるかというのは、最後の話になると思う。その次に、松原小学校か第四中学校かと私は思う。石見小学校は難しい。

色々な話を聞きながら、どの答えがベストかと考える。皆さんが言われることも正当なご意見である。石見小学校は統合するにしても、一番要になるのではと思う。人数的なことを考えてもトップである。国府小学校に統合する時には、地域が閉校せざるを得ないという方向性であった。石見小学校については1校のみで大規模である。そういった場合、3番目に来ると中々難しい。1番に考えなければいけないかと思う。石見小学校が解決すれば、他も話が進みやすい。初めに統合という形に持ってくれば、分かりやすいかと思うし、美川小学校が地域の思いが熱いところであるため、それこそ本当に分けてしまった方が良くかと思う。そこが決まらなければまとまらないのはある。

会 長

すでに全体の協議に入っているところである。非常に難しい問題であり、特に、石見小学校は地盤沈下という大きな課題を抱えている。結論的に先ではないかという大変貴重なご意見をいただいた。事務局から状況の話があったところであるが、建て替えることについては皆様賛成であると思うが、どこに建てるかといった問題や、造成費の予算の問題ということのお話があった。児童数の多い学校

委員

であるので大変難しい問題である。

石見小学校の現地改築は難しいという話になっているが、以前第三中学校を改築された時に、地盤沈下がとても問題になり、地下の補強工事をされた。ご存知か。

事務局  
委員

今の第三中学校の場所か。

旧第三中学校のところが、昔は沼地であったため地盤沈下が起こるといふことで、地下にコンクリートを相当入れるという工事をされた。ずいぶん、校舎を建てるのに高額になったと聞いた。地盤沈下が起こるとすれば、その様な補強工事は可能か。ただ沼地に盛り土をただけでなく、地下にきちんとした補強をすれば地盤沈下は防げると思う。ただ、現地改築でいけば仮設校舎の問題がある。それから、工事車両の進入路の問題とか、色々と細かい問題が出てくる。どちらがいいのか。下に建てることはできないのか。

事務局  
委員  
事務局

今の自由広場か。

そうである。あそこは狭いのか。

グラウンド分くらいしかないと思う。これは私の勝手な思いであるが、ふれあい広場に仮設校舎を建て、上を完全に潰して整地までして、今のところに校舎を造るといふのであれば、可能性があると思う。ただ、工事車両がどこからどう入るのかという問題が出てくる。東公園自体が、国の所有地であるので、勝手なことができないという部分もある。その辺の許可を取って進めていかなければならないと思う。可能性としてはゼロではない。個人的な意見である。

委員

例えば、今の石見小学校の校舎が1学年4クラスになっている。将来的には30人学級で3クラスである。クラスが減るといふこともあるし、反対に最近が多目的教室であるとか、オープンスペースを造られるので、面積としては変わらないかと思う。

事務局

私は石見小学校出身であるが、当時は45人学級の4クラスで、私の2つ3つ下の学年が入りきらないといふことで、校庭にプレハブの校舎を造り、5組目、6組目があったという状態であった。それで、三階小学校に分かれたわけである。クラスは大体対応できるかと思う。

委員

地盤沈下の問題については皆素人であるから、地盤沈下をターゲットにしてこの中で検討しても始まらない。だが、その付近に候補地があるかないかも分からない状況である。基本的に、単独建て替えにするのかしないのかとか、合併して、他にやるのかといふ方針くらいまでしか私たちにはできないのではと思う。方針が決まれ

会 長

ば、今度は行政の方が候補地を探すとか、地盤沈下の工法を検討してもらおうとかといったことでないと、私たちが地盤沈下をどうこうするという協議はできない。

今、委員からもあったが、地盤沈下対策については私たちが議論したところで話が進まない。浜田市で、候補地があるということであればまた話が進むが、これも現状は難しいとのことである。次の松原小学校との統合や編入について、そういったことも含めて話を進めていかないと、今、石見小学校だけで結論を出すのは難しい状況である。松原小学校の話し合いをしながら、検討してみてはと思う。

石見小学校については、浜田市でこういったところがあるという何か候補地の案をお持ちかどうかわからないが、あくまでも現校舎の追加等対策を講じながら現地建て替えをしていくという方向なのか、そこのところをもう少しお聞きしたい。

事務局

先ほども話が出たが、候補地は難しい。先ほど、(1)にあったように、例えば松原小学校の一部を石見小学校にくっつけて、新しい校舎を造るという方法もあると思う。単独建て替えというご意見がたくさんあったし、松原小学校を含めて考えるのであれば、それも1つの方法である。

松原小学校のところを見ていただくと、三階小学校のことも少し出てくるので、今、街中で3校、こういった小学校があるが、これを例えば2校に絞っていくことになると、当然、三階小学校のことも話が出てくると思う。中々、3校をどの様にしたら良いかというのは難しい問題であるとは思いますが、そこを検討していきたいという思いはある。

委 員

仮定であるが、石見小学校を単独建て替えという様な状況になれば、当然、松原小学校と三階小学校に同じ様な老朽化の問題がいつかはやってくる。その時点では、両端の新しい学校との振り分けということは当然、話が出てくると思う。そうなれば、やはり先ほど他の委員が言われた様に、安易に松原小学校へ集めて、松原小学校での受け入れができないとなった時にまた、原井小学校に編入を検討してということの繰り返しをしなくても良い様な形にならないかと思う。今回、石見小学校を建て替えるということになると当然、原井小学校と三階小学校のことを少しは頭において検討されるべきである。

事務局

先ほど委員が言われたとおり、以前お配りした資料の浜田市内の

小学校区の旧市内を見ていただくと、松原小学校、石見小学校、三階小学校、原井小学校の4校に赤い丸が付いており、市内の中心ということである。今回、石見小学校のお話をさせていただいている。

松原小学校については古さというよりも、劣化の激しさということで今回挙げている。次回の学校統合の審議会では、間違いなく松原小学校についてはどうするかということが出てくる。

そうすると、今回の石見小学校、三階小学校、原井小学校と松原小学校というこの4校を残していくのか、3校にしていくのかということは、当然この中でも出てくるので、次の松原小学校の話の中ではそういったところも含めて、石見小学校のことを考えていただければと思う。

委員 通学の距離の問題も出てくるので、安易に端に集めるというわけにはいかない。

委員 資料5(1)松原小学校の一部を編入して統合の建て替えをされる場合は、例えば、松原小学校の方へ少し寄せて建てるのか。松原小学校へ少し寄せるということで用地が確保できるというニュアンスであったのかと思ったが、そうではなくて、統合であれば、財源の対応はできるので、山を削る様な少しお金をかけたことができるのか、地盤を強化することができるということか。

事務局 確かに統合すれば補助金が受けられるということがある。位置的に、松原小学校寄りに造るところまでは含んでいない。

事務局 場所の問題もあるが、今の松原小学校ができた時に、浅井町内が分かれたということもあるので、公民館の事業をする時に、松原小学校と石見小学校の児童が集まっての事業になる。そうしたところは、1つの学校の児童にしたいという思いもある。

会長 色々と意見を出していただいた。今もお話があった様に、石見小学校を中心に話をしてもらっているところであるが、松原小学校との関連もある。やはり松原小学校と並行して協議をしていかなければ、中々難しいと思う。松原小学校について具体的な話があれば、事務局からお願いしたい。

事務局 資料5をご覧いただきたい。松原小学校の考え方としては、これまでも出ているが、廃校として石見小学校と三階小学校と原井小学校それぞれに分かれていく考え方がまず1つ。それから、今回の10年間の計画の中は、とりあえず先の話にしておいて、また次のところで検討してもらおうという考え方のどちらかくらいしか思いついていないが、そういったところを踏まえながら、先ほどの石見小学



校に絡んでくるところもあるので、もし、ここで松原小学校を廃校とした時には、町別に見たら、外ノ浦町、松原町、殿町が、原井小学校へ行くのが近いかと思う。それから、川の南側の朝日町、牛市町が三階小学校へ行った方が良いということになる。川の北側の田町、琵琶町、浅井町は石見小学校へ行くという様な形が、松原小学校がなくなった時の地区割的には妥当であると思っている。

委員

琵琶町は三階小学校の方が近いのでは。天満町や紺屋町はどうか。

事務局

そういう見直しをすることで、松原小学校の廃校ということはまだ可能であるという考えではある。そうした場合には、三階小学校と原井小学校は吸収できる人数の範疇であると思うが、石見小学校については、吸収が中々難しいかと思う。今、1学年辺りの人数が松原小学校は32人前後であるので、原井小学校、石見小学校、三階小学校の3校で10人ずつ均等に分かれていけば、大丈夫かと思う。そうでなければ、学校の教室の増も検討していかなければならない。

会長

今、事務局から松原小学校の関係についてお話いただいた。石見小学校にも関係することであるが、松原小学校について委員方からご意見があればお願いします。

委員

人数が少なくなったから簡単に分けられると言っても、了解が得られるかという、100パーセント駄目である。地域の部分もあるし、浜田市で一番古い学校である。だから、はいわかりましたというわけにはいかない。

私は、財源が乏しいという話があるが、やはり教育機能がどうしようもなく働かないという様なことになれば、それは分割とか統合とかがあり得ると思う。今の段階で松原小学校が機能していないかと言ったらそうではない。そういうことは全くない。財源がないからではなく、財源を作る方法は何かないのか。ふるさと納税とか、何か良い方法はないか。それが、郷土を大切にするとかお金を大切にするといったことにつながるのではないかと思う。安易に行政の立場とか、ここで児童の数とかを言うが、やはり、工夫をしていかなければいけないということはある。

この審議会というのは、こういう細かい計画は出さなくても良いのか。

事務局

方向性だけである。

委員

例えば、石見小学校は現地建て替えが望ましいという様なところ

で止めておいても良いわけであるか。

事務局 現地建て替えが望ましい、もしくは、代替え地を見つけてそこに建てるのが望ましいでも良いと思う。そこから先は行政が考える。

委員長 お金の面までは意見できない。

委員長 今、委員からお話があった様に、石見小学校は歴史ある学校であるので、難しい問題がある。慎重に話を進めていかなければならない。石見小学校にしても松原小学校にしても、今、お話があった様に「望ましい」程度の話でないと、私たちも結論を出すのは難しいと思う。

委員 先日安来市に行った時に、安来市も統合が多いという話があったが、その時に、学校が新設されたかというところがある。そうした場合に、事例として、石見小学校と同じ様なところはあるのか。この辺でも例えば益田市とかはどうか。

事務局 規模の大きな学校同士の統合ということか。

委員 そうである。建て替えをしないといけませんが統合せざるをえないから統合したという、似たようなケースはあるのか。たまたま安来市で統合の話があって、雲雀丘小学校くらいの20人とか30人といった規模の学校が、大きな学校に統合されるというのが多い。それにどの様なメリットがあるのか分からないが、そういうケースがあるのかと思った。詳しくは聞かなかったが、ただ、同じような例があればそれを基に話もしやすいかと思う。色んなことを聞きながら協議していかなければならない。東部の方が細かく地区が分かれているので、同じようなケースがあるのではないかと思う。

事務局 全てを調べているわけではないが、大規模校同士というのはまずない。どこも考えないと思う。小規模校のところは、近くの大きな学校へ吸収されていく。今の施設の中でできるもので統合していくということが、経費のことを考えた時には優先的に考えられると思う。統合される学校が古い場合には新しく建て替えて、地区全体で統合する。国府小学校が最近の例である。

委員 大規模校でも建物が古かった場合、建て替えなければならない。そうした場合、候補地というものがあると思う。どこにするかという候補地が決まらなると話も進んでいかない。最初に戻るが、予算のことがある。

事務局 建て替えをするという大前提があって、候補地選定に入る。建て替えかどうか分からないのに、候補地までは考えない。そうすると、どうしても建て替えの方向性が出た上で、候補地を選定してい

- く。方向性を出していただくのがこの審議会である。
- 委 員 先ほど、他の委員が言われた様な、建て替えはしなければならないが、候補地が見つかり次第建て替えというざっくりとした感じで良いのか。通学の見直しも当然していかなければならない。
- 事務局 ここに決まればこういう校区であるが、こちら側に新しく建てば、校区が若干変わるということはあると思う。ただ、今、候補地が決まらない中で、何町がどこにと細かいところまでは現実的には厳しいと思う。
- 委 員 今回、最初にあったように、小・中学校の配置及び通学区域の見直しについても諮問事項に入っているということは、やはり場所も決まっていないとその先の通学路に関しても決められない。浜田市として、決めてはいないが、こういった土地があるということがあれば、廃校や統合という形の資料5のデータがあるので、それなりの候補地みたいなものがあればと思う。
- 事務局 ただ、現地建て替えを大前提とした校区の見直しでしか考えられないと思う。ここになるかもしれないので、このパターンにしようということは無理であると思う。現地建て替えを大前提とした校区の見直しで考えるしかないと思う。
- 事務局 今回の通学区域の見直しの一番のテーマは、資料5の考え方の原則①同一小学校の児童は、同一中学校への進学した方が良いのではないかというところである。もし仮に、建設場所が動いた場合には、何町がどこの小学校へということが出てくるが、同一小学校は同一中学校へ進学ということベースに、この答申の中で出されると、事務局がその考えに従って、何町はこの小学校へということを決めていくという形になっていくと思う。
- 事務局 現行のところでは、原井小学校の紺屋町と、松原小学校が第一中学校と第二中学校へということがある。この2か所が、同一小学校から同一中学校へ行っていない。今は、その部分でしか想定していない。
- 委 員 実際に、校舎建築の方向性が出ないと、候補の場所が出ない。先ほど、事務局が言われた紺屋町の様に、問題のある所は考えていかなければならない。あとは、難しいと思う。
- 事務局 場所が決まらない中で、それを想定して考えるのは難しい。
- 委 員 石見小学校で言えば、浅井町全部が松原小学校へ行くということになる。
- 事務局 今は、現地建て替えを大前提で考えるしかないと思う。

委員  
事務局

では廃校というのはあまり考えられないということか。  
廃校という方向性があれば、当然、それに合わせた校区も考えていかねばならない。

委員  
事務局

お金の話も加味した中で考えなくてはならない。  
以前お話したが、後野小学校と佐野小学校は、統合審議会の時には三階小学校という話になっていたが、現地への説明会の中で、後野小学校は石見小学校に変わったという経緯もある。

あくまで、審議会の方向性としての話、この場での結論として出していただき、それを現地に下ろした時に、現地でどういった答えに変わっていくかということは、教育委員会が責任を持って現場と話をするということになると思う。

委員

違う方向になるかもしれないが、1点だけお聞きしたい。国府小学校を見た時に、随分違和感を覚えた。全国的に大体学校は災害時の避難場所になっているのに、候補地を検討する時に、あの様に津波が来たら一度で駄目になる様なところにわざわざ建てるということについて、総合的な位置関係は検討されなかったのか。

事務局

検討し、津波の影響はないという判断の下で建てられたということである。

委員  
委員  
委員  
事務局

あの場所は海拔何メートルになるのか。

5メートルである。

5メートルというのはどうなのか。

浜田市の場合、地形的に海にも山にも面しているので、どちらに視点を置くかによる。

委員  
事務局

日本海であるので、あまり高い津波は来ないという想定か。

そういうことはないと思う。県の基準が変わったので分からないが、当時は、今建っている場所なら津波は大丈夫という判断であったと思う。私もはっきり覚えていない。

委員  
会長

承知した。

先ほど委員が言われたことは大事なことである。せつかく建て替えることになれば、今のこの異常気象の中で、そういったことは重要となってくる。

今、石見小学校と併せて松原小学校について話をし、皆様方からご意見を出していただいた。石見小学校については、委員方一人ひとりからお話いただいた。並行して松原小学校の話をしてきたわけであるが、まだ、これは話しておかなければという点があればお願いしたい。

繰り返しになるが、お話の中で、建て替えをすれば、現地の建て替えが望ましいということしか言えない。今、事務局からもお話いただいた様に地盤沈下の大きな問題や課題があるが、候補地についてもここだということがないので、どうしようもない。この会でまとめをするのなら、建て替えが望ましいという程度まででないといけない。他の方法などをまとめるのは難しい。

事務局 中々こうあるべきというのは難しい。審議会では1つの方向性として、何が望ましいかという形のお答えを出してもらえれば良いと思う。

事務局 現地建て替えが望ましいというのは、石見小学校についてということが良いか。松原小学校は別か。

会長 そうである。

委員 地元の方々のご理解をいただくというのは非常に難関であると思う。例えば廃校とか分散とかいうことになる。

事務局 それはどこの地区でも同じである。

委員 規模の問題ではない。いくら小さな学校でも難しいと思う。

会長 石見小学校については、それぞれご意見をいただいて、課題や大きな問題もあるが、総合的に集約すると現地建て替えをすれば、今ある施設の周辺付近という様な形にして、現地での建て替えが望ましいということでもまとめさせていただいて良いか。

各委員 全会一致で承認

会長 ありがとうございます。

それでは事務局にもその様な形でのまとめをお願いする。

続いて、松原小学校の関係であるが、これは特に資料に廃校とし、ということが書いてあるので、地元の人には大変なことであると思う。これも協議事項であるので、石見小学校との統合を主に、一部の区域を原井小学校や三階小学校へ編入という形が示されているわけである。

先ほど委員からもあった様に、後段の中学校との関係も出てくるわけであるが、やはり小学校としての考え方をしていかなければならないということで、資料5には松原小学校の後に括弧書きで（石見小学校への統合）との前提があるが、これについて良いか悪いか、方向性を出せば良いのか。さらに難しいと思うのだが。

委員 石見小学校への統合と書いてあるが、石見小学校の方向性がまだ出ないという時にこれについて協議できない。(2)の次期計画に委ねてはならないか。

会 長  
事務局  
委 員

今のところはそれしかない。

皆さんのご意見をまとめていただきたい。

石見小学校の方向性が 10 年先にもまだ決まらないという様なことがあるかどうか分からないが。

事務局

最初に 6 校に絞りましょうという話もあったと思うが、今回 6 校に絞って協議しましょうということで、今回の協議対象から外すなり、先に延ばすなりということがあっても良いとは思う。

会 長

先ほど委員からご意見いただいたように、松原小学校については次期計画ということで、それまでには石見小学校関係がある程度具体化するであろうと思うので、そういうことで今回の審議会では外させてもらうということで良いか。

委 員

反対というわけではないが、少し事務局に伺いたい。松原小学校の上の雲雀丘小学校や美川小学校は石見小学校の場合は、最初のところで、建て替えの案が出ていた。松原小学校の場合は、案として 2 つである。基本的に、建て替えという案が出ていないが、これは何か原因があって建て替えは無理とかいう様なことがあり、この案の中に入っていないのかどうなのかということをお聞きしたい。

事務局

松原小学校については、老朽化でなく劣化というところで説明をさせてもらっている。石見小学校への統合が前提であった場合には、廃校としてということが考えられるということで(1)に挙げている。単独でというスタンスであれば、順番としては、老朽化でなく劣化という段階であるので、順番としてはまだ後というスタンスであるので、ここには単独という表現は抑えて、次期計画という形で表現をさせてもらっている。

委 員

確かに、経過年数から見ると、他のところよりも建てられてからあまり年数が経っていない。ただし、やはり健全度を見ると、今の石見小学校と同じではないが、大きな差はないと思う。劣化であろうが、老朽化であろうが、建物そのものが使えない、ふさわしくないということであれば同じスタンスではないかという気持ちである。

私も、石見小学校の結論ありきで松原小学校のことを協議すると認識していなかったので、劣化がひどく松原小学校がここに挙がってきているということの中で、建て替えの案がないというのはどうということかと思ったので伺った。結局は、石見小学校の方向性ありきということになる。

会 長

松原小学校については、繰り返しになるが、資料 5 に次期計画(10

各委員  
会 長

年後以降)に検討ということが項目として表記してあるので、次期計画時に検討するという事でまとめをさせていただいて良いか。

全会一致で承認  
ありがとうございました。

4 その他  
会 長

予定時間となった。今日は特に石見小学校、松原小学校を中心にお話いただいたが、まだ、第二中学校と第四中学校の関係がある。これは次回ということで、お願いをしたいと思う。これらについて事務局から説明をお願いします。

事務局

本日はお集まりいただきありがとうございました。あと2校残っているので、もう1回審議会を開催しなければならない。来週は盆休みに入ったり、9月は議会があつたりする関係で、今、事務局では9月14日(金)か、9月25日(火)のところしか日程が取れない。今日は15時からにしてもらったが、次回が最後の審議会のつもりでいるので、少し早めの14時くらいから始めさせてもらうか、18時くらいから始めさせてもらうかの計4パターンの中でご都合をつけていただければと思うので、よろしく願います。

各委員  
事務局

それから、冒頭で会長が言われたが、前回の議事録について今のところ訂正の報告がないが、このままで良いか。

良い。

ありがとうございます。次回の日程については、今日記入できる方はしていただき、難しいということであれば、封筒を付けさせてもらっているので後日送っていただければと思う。8月22日までに提出いただきたいと思いますので、よろしく願います。

会 長

今日は石見小学校と松原小学校について色々と協議、ご審議いただき、その方向性について承認をいただいたところである。ありがとうございました。これで終わりたいと思うが、次回で4回目となり、一応最終ということで事務局からお話があつた。また事前に送付している資料等については十分にご覧いただき、次回で中学校の関係の協議をお願いしたいと思う。色々と難しい問題で、大変ご苦勞をおかけするがよろしく願いたい。

それから、事務局から議事録をマル秘で配付していただいているが、これは非常に重要な内容であるので、外部には秘密にさせていただきたい。

今日は大変お疲れのところありがとうございました。本日の審議

| 会を終了する。